

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年2月20日（火）

2 確認箇所

高温焼却炉建屋東側

3 確認項目

高温焼却炉建屋東側壁面配管からの水の漏えいの対応状況

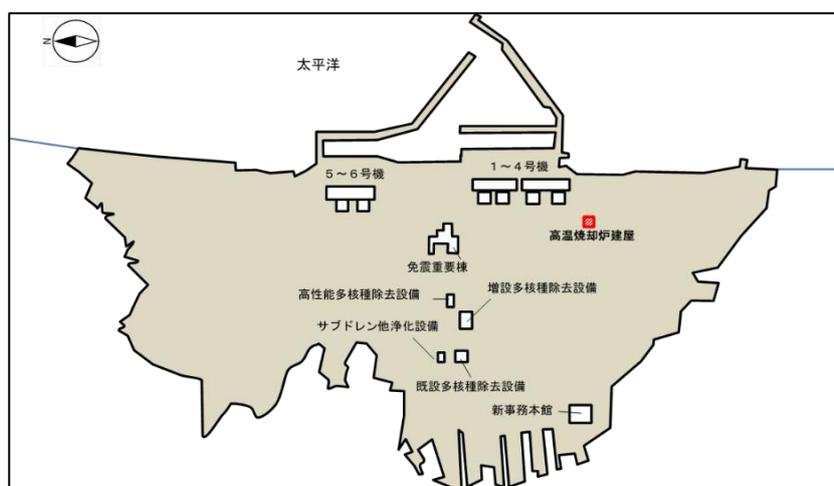
4 確認結果の概要

令和6年2月7日に発生した高温焼却炉建屋（以下「HTI建屋」という。）東側壁面の配管（第二セシウム吸着装置に接続する水素ガス排出用の排気管）からの放射性物質を含む水の漏えい事象の対応状況を引き続き確認した。（図1）（写真1）（前回確認：[令和6年2月19日](#)）

- ・土間コンクリートの一部を撤去して汚染された土壌を回収した部分（土間コンクリート西側のHTI建屋壁側）は砕石で埋め戻しされており、コンクリート打設の準備として鉄筋網を設置する作業が行われていた。

（写真2）

- ・また、土壌回収部とHTI建屋東壁境界に目地材（エラストイト）を設置する作業も行われていた。（写真2）（写真3）
- ・K排水路では、バイパス設備（堰、水中ポンプ、移送配管等）の撤去作業が行われており、現地確認時には堰を構築していた大型土のうをクレーンでK排水路から引き上げる作業が行われていた。（写真4）
- ・作業エリアの3箇所で連続監視しているダストモニタの測定値を確認したところ、警報設定値（ $1 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$ ）未満であった。（写真5）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
HTI 建屋東側の概観
(北東側から撮影)



(写真2-1)
鉄筋網等設置作業の状況①
(北側から撮影)



(写真2-2)
鉄筋網等設置作業の状況②
(東側から撮影)



(写真3)
鉄筋網等設置作業の状況③
(北側から撮影)



(写真4)
大型土のうの引き上げの状況
(北西側から撮影)



(写真5)
ダストモニタの確認状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。

なお、2月19日午後7時42分頃に伝送異常が発生した1号機原子炉格納容器ガス管理設備の核種分析装置B系のデータも正常に伝送されていた。